

応募お待ちしております

兵庫県医療ソーシャルワーカー協会

第13回実践発表会 演題募集のお知らせ

会員の皆様から日々の実践の中で「考えていること」「伝えたいこと」「まとめたいこと」などを実践発表、研究発表として募集し、みんなで学びあう場を企画します。

自分自身の振り返り、実践のまとめ、腕だめしとして、是非ともあなたの日頃の実践を紹介してください。

演題募集要項

1、テーマ

ソーシャルワーク業務に関する実践報告、調査研究、業務分析など（自由演題）

2、実践発表会・日時

平成30年2月17日（土） 13:00～17:00（予定）

3、実践発表会・場所

未定

4、申し込み資格

兵庫県医療ソーシャルワーカー協会会員

5、発表方法

口述発表 10分 質疑応答5分（パワーポイント使用可）

ご発表いただく方には、後日、発表要綱をご案内致します。

6、申し込み方法

1) 演題申し込み

締め切り 平成29年12月25日(月)必着

裏面申し込み用紙に発表趣旨と必要事項を記入し、下記申し込み先までFAXにてお送り下さい。

（裏面の申込書でFAXにてお願い致します）

2) 抄録原稿の提出

締め切り 平成30年1月25日(木)必着

抄録原稿はA4用紙（縦）2枚（横書き・図表等含む）でお願いします。

そのまま印刷しますので、折り曲げずに下記まで郵送及びメールで送付して下さい。

A4用紙に印刷するときは、上下、左右の余白を3cm以上あげてください。

7、申し込み・お問い合わせ先

企画担当役員 柿本 （姫路聖マリア病院）

〒670-0801 姫路市仁豊野 650

電話 079-265-5111

FAX 079-265-5118

兵庫県医療ソーシャルワーカー協会

第 13 回実践発表 演題申込書

ふりがな		受付 No.
申込者氏名		
所属機関・部署名		
所属機関連絡先	〒	
	TEL	FAX
	E-mail	
共同演者(あれば)	所属機関名	
演題名		
発表趣旨		

演題申し込み先 : 企画担当役員 柿本 (姫路聖マリア病院)



FAX 079-265-5118

以下は、今までに発表された演題の一覧です。日々の実践報告、事例など様々なテーマが発表されてきました。共同発表の形式を取るなど、グループでの発表もOKです。多数の応募、お待ちしております。

過去の発表演題

- ・「回復期リハ病棟における在宅支援の一事例」
- ・「ここで生きたい ～阪神淡路大震災から17年～」
- ・「兵庫県MSW協会 新人研修めだかプロジェクトXI 共同研究」
- ・「公立朝来和田山医療センターにおける
ソーシャルワーカーの取り組みと地域との連携について」
- ・「家に帰ればきっと良くなる！
～その人の意思を尊重することと、その思いを支える制度とは～」
- ・「相談支援日誌の効果的活用を目指して ～もっとソーシャルワークが見える形に～」
- ・「外来及び退院後の終末期がん患者と家族に対する相談支援の意義と課題
～療養場所選択の支援について～」
- ・「医療ソーシャルワークにおける退院調整看護師との役割分担と業務への影響
～急性期病院のMSWに対するアンケート調査速報～」
- ・「認知症患者への各院所の取り組みの報告」
- ・「塚口病院における包括的患者支援」
- ・「M氏と向き合い共に歩んだ257日～クライアント主体のSW援助とは～」
- ・「自己決定」について考える～生体間腎臓移植ドナー面接を通して～
- ・「石巻での災害支援活動を通して ～私が見たもの、感じたこと～」
- ・「介護老人保健施設の役割と支援相談員の機能 在宅復帰の取り組みから考える」
- ・「みんなで考えよう！家族とのコミュニケーション
～より良い家族支援を実践するために～」
- ・「水俣病大検診・問診に参加して」
- ・「地域包括ケアのMSWの役割とは何か ～内科病棟の退院支援から考える～」
- ・「当院におけるケアマネージャーとの退院調整ルールへの対応について
～地域連携室の取り組みから～」
- ・「実践発表会 第10回を迎えて」
- ・「ファシリテーター機能の考察～MSWに期待される役割」
- ・「高次脳機能障害者支援の実態と課題」
- ・「单身男性生活支援プロジェクト～ふるさとの会の取り組みについて～」
- ・「HIV・AIDS患者の地域での受入に向けての試み」
- ・「地域包括ケアの推進に向けた取り組み報告」
- ・「ハンセン病の歴史と現状を学ぶ ～共に生きる社会の構築を目指して～に参加して」
- ・「治療・制度利用を通して生活環境改善事例
～難病・知的障がい疑いから自助努力が期待できない場合～」
- ・「兵庫区地域医療連絡会 活動報告」
- ・「在宅療養後方支援病院としての取り組み ～MSWの視点から～」
- ・「八鹿病院における退院支援の取り組み」